

第3次美波町総合計画（案）パブリックコメント提出意見に対する回答及び対応

No	区分	掲載ページ	ご意見	担当課	回答及び対応	修正
1	目次	-	「2 美波町を取り巻く社会情勢」という言葉は「自分（美波町）に対して周囲や環境が与える影響」を意味していると考えます。この項目内に「美波町の概況」「(住民意識の把握)」「(4)SWOT 分析」という自分（美波町）のことが含まれていると意味が通らないので、「2 美波町を取り巻く社会情勢」を変更するか、(社会情勢の変化と(2)-(4)を分けた方が良いと思います。	政策推進課	ご意見を参考に、2「美波町の現状」にタイトルを変更いたします。	有
2	序論	2	計画の目的や対象が明記されていないので、誰のための何の計画がわからないので明記して欲しいです。	政策推進課	「(1)策定の背景」に記載のとおり、第2次総合計画の計画期間の満了を機に現在の社会潮流を的確にとらえ、次代に誇りを持ってつなぐまちづくりを推進するための指針として、新たに第3次美波町総合計画を策定いたします。	無
3	序論	5	「(1) 社会情勢の変化」に「⑧SDGs の考え方の導入」とあり、P50 のあるべき姿においても「SDGs 等の国際目標に準拠しながら施策に取り組み」とあるにも関わらず、施策で意識しているのが17の目標のうちのどれかがわかりません。まずはこの第三次美波町総合計画からSDGsの考え方を導入してみたいかがでしょうか？基本計画における施策分野とSDGsにおける17ゴールとの関係を整理した表があると分かりやすいと思います。	政策推進課	基本施策ごとにSDGsのゴールを記載することとしています。町民の皆様が自分事として関心を高めていただけるよう、一層周知を進めていきます。	有
4	序論	5	「美波町 SDGs 未来都市計画」のp.19において、第3次総合計画へSDGsの取り組みを反映すると記載があります。しかし、美波町 SDGs 未来都市計画 p.8-15 に記載されているKPIが施策の目標指数に反映されていないので反映してはいかがでしょうか？	政策推進課	第3次美波町総合計画ではまちづくりの大きな方向性を示しており、それぞれの個別計画のKPIについてすべて記載はしていません。	無

第3次美波町総合計画（案）パブリックコメント提出意見に対する回答及び対応

No	区分	掲載ページ	ご意見	担当課	回答及び対応	修正
5	序論	11	「2 美波町の概況」において、「経常収支比率の推移」で平成27(2015)年以降5年で10%以上増加しているのはなぜでしょうか？また、経常収支比率の推移において経常収支比率に適正範囲があればラインを追加していただきたいです。適正範囲がわからないため、元々の約85%あたりの推移が比率として適正だったのか判断ができません。	総務課	経常収支比率は、平成27(2015)年以降比率が高くなっています。これは歳入面で人口減少による税収の減、歳出面で大規模事業などの地方債発行による公債費の増加、他会計への繰出し金の増加などによるものです。経常収支比率は財政の硬直度を示す指標であり、一般的な適正範囲は70～80%であるといわれています。美波町は財政の硬直度が高い状態であるといえるため、公債費の抑制や物件費等、経常経費の削減に努める必要があると考えています。詳しくはホームページで公表している財政状況資料集をご覧ください。	無
6	序論	11	「2 美波町の概況」において、「実質公債費比率の推移」で平成27(2015)年以降5年以降増加しているのはなぜでしょうか？実質公債比率の推移において「早期健全化のラインよりも下回っているもの」と記載ありますが、グラフ内に早期健全化のラインがなく判断ができません。早期健全化のラインを追加していただけないでしょうか？	総務課	実質公債費率についてみると、平成24(2012)年以降平均して5～6%台となっており、大規模事業に伴う地方債発行により、平成29(2017)年以降増加傾向にあります。実質公債費率は地方公共団体の公債費による財政負担の度合いを示す指標であり、早期健全化基準である25%、財政再生基準である35%はそれぞれ下回っています。基準値以下ではあるものの、町債残高は平成27(2015)年以降増加傾向にあり、償還開始に伴って数値の悪化が見込まれるため、起債発行を財源とする事業の厳格化に努め、財政健全化を図っていきます。詳しくはホームページで公表している財政状況資料集をご覧ください。	無
7	序論	12	「(3) 住民意識の把握」について、住民のアンケート調査結果は5年に1回の貴重な住民の意見であるので、末尾の資料集でもかまわないので、アンケート調査票の内容と各項目の結果について掲載して欲しいです。	政策推進課	アンケート調査結果については、第3次総合計画の公表時に、美波町総合計画審議会の審議内容とともにホームページで公表させていただきます。	無

第3次美波町総合計画（案）パブリックコメント提出意見に対する回答及び対応

No	区分	掲載ページ	ご意見	担当課	回答及び対応	修正
8	序論	12	「(3) 住民意識の把握」について、標本調査の有効回収率が低いと思われる。調査では、定住意向や町への愛着等のポジティブな回答を評価しているが、「住み続けたくない」や「住み続けたくても住み続けられない」等のマイナーな意見にこそ、今後10年の間に顕在化・深刻化するかも知れない町の課題が含まれているかも知れない。ネガティブな回答を十分に分析・評価しているのか疑問に思う。さらに、調査結果に地域的な差があるのかないのかも気になる。美波町は湾ごとに漁村が形成され、さらにその奥に農村があり、地域それぞれに特徴があり、抱える課題も異なることが容易に想像される。このような美波町では、基本構想・基本計画に加え、地区別計画は必要不可欠である。	政策推進課	回収率の低さの一因はまちづくりへの関心の低さとして重く受け止めております。また若年層の回収率が低くなっており若い方のまちへの関心の低さも改めて感じています。少数意見や自由記載などのご意見はアンケート調査結果をホームページで公表するとともに、今後の政策に生かしていきたいと思えます。総合計画は町全体のあるべき姿に向けての計画であり、地区別計画策定の必要はないと考えます。	無
9	序論	12	「(3) 住民意識の把握」について、住民の2人に1人が高齢者の町での住民アンケートは、全体集計値だけではどうしても高齢者意識調査になってしまいますので、年代別の集計結果も掲載して欲しいです。	政策推進課	アンケート調査結果については、第3次総合計画の公表時に、美波町総合計画審議会の審議内容とともにホームページで公表させていただきます。	無
10	序論	12	「(3) 住民意識の把握」について、アンケート項目について、例えばボランティア活動についての項目があるが、活動したい内容について聞く項目は無かったので、今後のニーズ調査も兼ねて聞くべきであると思えます。	政策推進課	今回のご意見は次回策定時の参考にさせていただきます。	無
11	序論	12	「(3) 住民意識の把握」について、ポートフォリオ分析におけるアンケート回答結果の点数付けの方法が記載されていないため、第2次美波町総合計画との比較・検証ができないので方法を記載して欲しい。	政策推進課	P15 ポートフォリオのページに、回答結果についての点数表を追加いたします。	有

第3次美波町総合計画（案）パブリックコメント提出意見に対する回答及び対応

No	区分	掲載ページ	ご意見	担当課	回答及び対応	修正
12	序論	12	「(3) 住民意識の把握」について、ポートフォリオ分析の結果から、住民のニーズとしては、Ⅰは「重点的に改善する」、Ⅱは「重点的に維持する」、Ⅲは「当面は放置しておく」、Ⅳは「現状を維持する」項目になるが、その重みづけが後の基本構想・基本計画に採用されているのかが分かりづらく、Ⅰではなく SWOT 分析の結果がリーディングプロジェクトに採用されているので、住民感覚とずれた町役場がしたいリーディングプロジェクトの内容になってしまっているの見直しが必要である。	政策推進課	SWOT 分析は本町の住民の意見をまとめたものであり、リーディングプロジェクトは意見を踏まえたうえで、対外的な視点から本町の強みとして今後伸ばしていくプロジェクトとして記載しております。	無
13	序論	16	「4 SWOT 分析」について、「アンケート調査やワークショップ等におけるご意見、各種統計データ、これまでの取り組み」のそれぞれの結果を資料編へ追加して欲しいです。	政策推進課	アンケート調査結果等については、第3次総合計画の公表時に、美波町総合計画審議会の審議内容とともにホームページで公表させていただきます。	無
14	序論	16	「4 SWOT 分析」について、SWOT 分析は目的の設定によって SWOT 分析結果が大きく変わります。P16 へ目的を追加し P16 の SWOT 分析が何を目的として行ったのかが分かるようにして欲しいです。	政策推進課	SWOT 分析については、まちの現状を分析した結果をわかりやすく表したものです。	無
15	序論	16	「4 SWOT 分析」について、SWOT 分析の Weakness において「地場産業の衰退」とあります。克服方法が「新たな産業の育成や起業誘致」であるならば、地場産業の衰退の克服にはなっておらず、地場産業を捨てるとの解釈になります間違いはないでしょうか？	政策推進課	地場産業を捨てるという意味ではありません。新たな産業の育成や企業誘致を行っていくことで、地場産業をさらに活性化させていくという意図で記載しています。	無
16	序論	16	「4 SWOT 分析」について、クロス SWOT 分析の SO 戦略（強み×機会）のみフォーカスしていますが、クロス SWOT 分析をしたのであれば他 3 区分（WO（弱み×機会）・ST（強み×脅威）・WT（弱み×脅威））の戦略を追加して欲しいです。	政策推進課	リーディングプロジェクトは対外的な視点から本町の強みを整理したものです。	無

第3次美波町総合計画（案）パブリックコメント提出意見に対する回答及び対応

No	区分	掲載ページ	ご意見	担当課	回答及び対応	修正
17	序論	16	「4 SWOT 分析」について、強み×チャンスにおいて SWOT 分析で取り上げられていない「フェーズフリー意識」が出てきたのはなぜでしょうか？	政策推進課	防災減災対策における基本的な考え方がフェーズフリー意識の醸成であるとの認識です。	無
18	序論	16	「4 SWOT 分析」について、Strength、は「有力な観光交流資源が複数あること」にもかかわらず、強み×チャンスでは SWOT 分析で取り上げられていない門前町にフォーカスしているのはなぜでしょうか？	政策推進課	門前町については SWOT 分析における強みとして追記いたします。	有
19	序論	16	「4 SWOT 分析」について、Opportunity に記載の「新たな生活様式」は「働き方の新しいスタイル（テレワーク、オンラインミーティング等）」のことを表現していますか？「新たな生活様式」はコロナ感染対策の「手洗い、うがい、マスク着用等」を思い浮かべる人が多いのではと感じました。	政策推進課	「情報通信技術の発達に伴う新たな生活様式」とはテレワーク、ワーケーション等の新たな働き方を指しており、「情報通信技術の発達に伴う新たな働き方」に変更いたします。	有
20	序論	16	「4 SWOT 分析」について、フェーズフリーはまだまだ市民権のない新しい用語なので、p.110 の用語解説に追加した方が良いのではないのでしょうか？	政策推進課	用語解説に追加いたします。	有
21	序論	16	「4 SWOT 分析」について、SO の内容のほとんどが日和佐地区の内容で由岐地区の内容がほぼありません。町全体としてそのような認識でしょうか？	政策推進課	S（強み）、O（チャンス、好状況）には由岐地区の内容も記載していますが、美波町総合計画は町全体を一つとして捉えており、由岐地区・日和佐地区を区別するような構成にはしていません。	無
22	序論	17	「3 美波町の主要課題」というタイトルに対して、①から⑦の内容は政策として進めていきたい方向性が記載されています。タイトル通り、主要課題をまとめた方が読みやすいのではないのでしょうか？	政策推進課	タイトルにつきましては、課題に関するタイトルに変更いたします。	有

第3次美波町総合計画（案）パブリックコメント提出意見に対する回答及び対応

No	区分	掲載ページ	ご意見	担当課	回答及び対応	修正
23	序論	17	「3美波町の主要課題」において、p.7-8において問題として取り上げられているものが、大学等の高等教育を受けることができる教育施設がない、近年の就労ニーズに対応できる魅力ある雇用の場が少ない、進学に伴う転出、と記載されているのにも関わらず主要課題から外されているのはなぜでしょうか？	政策推進課	雇用の場が少ないという課題につきましては、P17 主要課題の①内の文言「若者が希望を持って定住できる魅力のあるまちづくりを進める～」の中に内包して記載しています。また、進学や教育に関する課題に関しても、同ページ④「教育機関と連携し健全な育成環境を整える～」の中に内包して記載しています。	無
24	基本構想	21	「目標人口について」について、なぜ人口減少するといけないのでしょうか？人口減少はどうしていけないのかから理由を書いてくれないと、人口減少しないように頑張る意味がわかりません。コミュニティを維持するためであればわかりませんが、口減少に歯止めをかけるだけではわかりません。	政策推進課	P21 の目標人口に関する記述に人口減少に関する記載を追加いたします。	有
25	基本構想	21	「目標人口について」について、基本構想の目標を人口としてわかりやすい数値目標を立てているのは良いと思いますが、p21 まで美波町の出生率、転入数、転出数が記載されていません。このため人口目標が達成できそうなものなのか、達成できるような施策が考えられているのかの判断ができません。美波町の出生率・転入数・転出数を【序論】内に追加した方が良いのではないのでしょうか？	政策推進課	人口に関する詳細な資料は「美波町人口ビジョン」に記載しています。	無
26	基本構想	24	p24 突然リーディングプロジェクトが出てきます。p26 と p27 の内容は p24 より前のページに入れた方が理解しやすいかと思います。	政策推進課	ページ順を「まちづくりの基本的な方向性」⇒「リーディングプロジェクト」⇒「体系図」に変更いたします。	有
27	基本構想	24	リーディングプロジェクトが体系図の序列で見ると政策以上の最上位に事項となっています。しかし、本計画を順に読み進めた場合、統計やアンケート結果、基本構想の数値目標から鑑みるに、若年層の転出を防ぐ、雇用の充実、農林水産業の振興、商工業・情報通信業の振興、出生率の上昇が求められている項目ではないのでしょうか？特に推薦していくと強調しているリーディングプロジェクトにこれらの内容が含まれていないのはなぜでしょうか？	政策推進課	リーディングプロジェクトは対外的な視点から本町の強みを整理したもので、複数の施策の集合体という位置づけです。ご指摘頂いたように体系図上わかりづらい記載となっていましたので、記載位置を変更いたします。	有

第3次美波町総合計画（案）パブリックコメント提出意見に対する回答及び対応

No	区分	掲載ページ	ご意見	担当課	回答及び対応	修正
28	基本構想	26	リーディングプロジェクトと p16 記載の強み×チャンスの内容が一致しています。SWOT 分析内で登場していない言葉が強み×チャンスに含まれているのが不可解でしたが、リーディングプロジェクトありきでSWOT 分析を作成してはいませんか？	政策推進課	SWOT 分析は本町の住民の意見をまとめたものであり、リーディングプロジェクトは意見を踏まえたうえで、対外的な視点から本町の強みとして伸ばしていくプロジェクトとして記載しております。	無
29	基本構想	26	第2次美波町総合計画から「雇用の促進＝サテライトオフィスの誘致」ですが、このままサテライトオフィスの誘致を主軸に政策を行って行くのでしょうか？この10年でサテライトオフィスの誘致で雇用が何名増えたか、誘致等に要した費用と法人税等の収益との費用対効果の根拠を数字で示していただきたいです。サテライトオフィスの推進も重要なのは理解でき進めていくべきと思いますが、次の10年（第3次美波町総合計画）で進めていく新しい雇用対策が本計画で打ち出されても良いのではないのでしょうか？	政策推進課	サテライトオフィス（SO）誘致は主要施策であると同時に、雇用促進対策の一つの取組、手段と捉えております。誘致することで地元雇用のほか移住にもつながり、各企業様が住民の皆様と繋がることで課題解決や活性化にも資すると考えます。SO企業で働く方については美波町では循環型SOが多いため、現在約30名程度となっており当然ながら増減がございます。費用対効果については、なかなか具体的な数値は出せませんが、視察者数の増加に伴い宿泊や食事、土産物等の販売増加のほか、SO誘致だけでなく防災対策も含めた視察など美波町を知っていただく一つのツールにもなっております。	無
30	基本構想	26	「住民主体の防災・減災対策の推進」について、美波町は事前復興まちづくりの先進地として国内外からも評価されているので、タイトルを「住民主体の事前復興対策の推進」にして、事前復興まちづくりの取組内容も入れるようにお願いします。	政策推進課	「住民主体の事前復興対策の推進」はリーディングプロジェクト内の「住民主体の防災・減災対策の推進」に含んでいるものと認識しており、主な内容取組みの中に記載を追加いたします。	有
31	基本構想	26-27	リーディングプロジェクトの目標指標を示してください。	政策推進課	リーディングプロジェクトは複数の施策の集合体であり、各施策に目標値は設定しておりますので、新たに目標値を設ける必要はないとの認識です。	無

No	区分	掲載ページ	ご意見	担当課	回答及び対応	修正
32	基本構想	26-27	リーディングプロジェクトにおいて、記述が日和佐地区に偏っているイメージを持ってしまう（門前町再生、サテライトオフィス・デ	政策推進課	本計画は地区単位ではなく美波町を一つのまちとして捉え、リーディングプロジェクトも町をひとつの単位として記載してお	有

第3次美波町総合計画（案）パブリックコメント提出意見に対する回答及び対応

			ュアルスクール、SDGs うみがめ)。リーディングプロジェクトという位置づけであるため、それでも良いのだが、それを理解しない人が読んだ場合、「この総合計画は日和佐地区の計画か」と思われかねない。従って、リーディングプロジェクトについては地区を限定していると想起させないよう記述方法の工夫を望む。		ります。リーディングプロジェクト内の記載については、地区を限定していると想起させないように記述を変更いたします。	
33	基本構想	28	計画の推進体制としてPDCAサイクルが記載されていますが、DCAはいつ、どのように開示するかを本計画に記載してください。	政策推進課	PDCA サイクルの進捗管理の部分については環境変化に応じて修正出来るよう適宜開示を予定していますが、開示のタイミングや方法については庁内で今後検討していきます。	無
34	基本計画	31	p.31以降のページの見方の説明が欲しいです。	政策推進課	ページの見方についての補足ページを追加いたします。	有
35	基本計画	31-	「基本政策 1 働く場所とにぎわいがたくさんあるまち」のように明記した方が、政策が何だったのかを前ページまで辿る必要がなくなるため親切です。	政策推進課	政策タイトルの表記を追加いたします。	有
36	基本計画	31-	主要施策の「主な事業・取組」とありますがこれは既に行っていることですか？これから始めることですか？記載のない物はどうか考えれば良いのでしょうか	政策推進課	区別なく両方記載しています。（※ただし、主な取組や事業となりますので、全ての事業や取組を記載しているわけではありません。）	無
37	基本計画	31-	主要施策はどの課が主管となるのか記載してください。	政策推進課	縦割りではなく横の連携を意識するため、あえて課名は記していません。	無
38	基本計画	31-	目標指標は目指す姿に対してのものですか？主要施策に対してのものですか？	政策推進課	目標指標は施策単位ではなく、目指す姿に対してのものです。	無
39	基本計画	31-	主要施策毎に目標指標を設定しないと主要施策の効果判定ができないため、主要施策ごとに目標指標を設定して欲しいです。	政策推進課	今回は、目指す姿に対しての指標としていますので、個別には設定しておりません。	無

No	区分	掲載ページ	ご意見	担当課	回答及び対応	修正
40	基本計画	31-	重要項目にも関わらず目標指標がアンケート結果のみでは、施策の	政策推進課	目標指標の設定においては、アンケート調査のみならず客観的	無

第3次美波町総合計画（案）パブリックコメント提出意見に対する回答及び対応

			有効性も判断できないように思います。アンケートは主観が入るため、主要施策は客観的に示すことができる数字で評価していただきたいです。また、目標「値」にも関わらず「増加」となっています。例えば、雇用が無いよりも雇用が多くあった方がよいことはあたりまえのことです。「値」で効果測定をしてください。目標「値」にも関わらず「増加」としている目標指標が多すぎます。せめて値をいれてください。		データを用いて数値で示せるものは示しております。今後はより客観的データの活用を検討いたします。	
41	基本計画	31-	事業計画の目標指標に、満足度やアンケート結果による割合を記載するのはおかしい。そもそもアンケートは全数調査ではなく標本調査で実施しているため標本誤差が必ずあり、それに、アンケートを実施しなければ事業評価ができない。指標は客観的で見える化しやすいものとすべきでは。中でも p.64 の「この1年の間に芸術にふれて感動したことが『ある』人の割合」というのは、回答者によっては町外の芸術活動等も回答に含んでしまうのでは。p.62 の「目的を持って学んでいるものが『ある』とする人の割合」も同じ。また、p.92 の「障がい者福祉の充実に対する満足度」や「住んでいる地域が高齢者や障がい者にも暮らしやすいと『思う』人の割合」では、障がいを持つ当事者が回答・評価しているのであれば良いが、総合計画策定のための標本調査の結果を反映しているのであれば、単にイメージで回答している可能性があるため、指標としては適切ではないと思われる。p.60 の「子育てについて地域で支え合う雰囲気がある」と思う人の割合に至っては、正直、絶句してしまう。	政策推進課	指標は経年比較・評価もあり、今回は前回計画の指標をベースとして使用していますが、ご指摘頂いた部分は、後期基本計画策定時に参考とさせていただきます。	無

No	区分	掲載ページ	ご意見	担当課	回答及び対応	修正
42	基本計画	31-	目標指標に「満足度」「～の割合」と出てきますが、これらはアンケート結果によるものでしょうか？この理解が正しければ計画	政策推進課	序論の P14 に重要度と満足度の説明書きを記載しています。	有

第3次美波町総合計画（案）パブリックコメント提出意見に対する回答及び対応

			内にアンケート結果によるものだという記載をしてください。			
43	基本計画	31-	目標指標の達成評価を行おうとしても、アンケートの取り方（点数の付け方）が総合計画や基本計画ごとに変わっている為、過去の総合計画のアンケートと見比べたときに数値比較ができないような状況です。過去との比較ができるようなアンケートを作り運用するか、数値比較ができるような補正值を示してください。	政策推進課	次回以降検討いたします。	無
44	基本計画	31-	政策→施策→事業は、それぞれ目的→手段の関係性であり、その成果の評価を目標指標で行うことになるが、政策→施策→事業→目標指標のロジックが繋がっていない施策が多すぎるので、他自治体の総合計画を参考に、ロジックモデル等で整理し直して欲しい。	政策推進課	今回は計画内に主な事業・取り組みを記載する試みを行っており、計画を運用して行く中で内容を精査し、次回計画策定の際はより政策→施策→事業が連動出来るようにしていきます。	無
45	基本計画	31-	現状と課題・主要施策・目標指標を一組として扱い、表にあらわした方が読み手に優しいのではないのでしょうか？	政策推進課	No44 の回答と同様。	無
46	基本計画	31-	他自治体の総合計画を参考に、総合計画における指標の考え方として、【実施計画】（活動データ・活動指標）→【基本計画】（主に実績データ、成果指標）→【基本構想】（ありたい姿への住民の実感度にすれば各指標間の混在もなく分かりやすくなり、また【実施計画】→【基本計画】→【基本構想】間での分析・改善がしやすくなるため採用して欲しい。	政策推進課	No44 の回答と同様。	無
47	基本計画	31-	大方の基本施策が各課縦割りで検討されており、課の枠 超えた思考がなされていないのでは。	政策推進課	縦割りではなく横の連携を意識するため、あえて課名は記していません。	無

No	区分	掲載ページ	ご意見	担当課	回答及び対応	修正
48	基本計画 基本政策 1	32	「農林水産業の振興」の課題として「農業資材の高騰」「良質な原木の確保」「漁獲量の減少」がありますが、これらに対する施策がありません。課題として捉えているなら施策が必要ではないでしょうか？	産業振興課	「農業資材の高騰」については、個々の農家で使用する資材の種別、量などが異なるので、耕作面積や作付する作物ごとに補助する制度が必要と考えています。令和4年度には、新型コロナウイルス臨時交付金を活用した制度を創設しましたが、令和	無

第3次美波町総合計画（案）パブリックコメント提出意見に対する回答及び対応

					5年度以降は財源の確保について検討しています。 「良質な原木の確保」はP31 主要施策7の内容欄に記載しています。「漁獲量の減少」はP31 主要施策9の内容欄に記載しています。	
49	基本計画 基本政策1	32	「農林水産業の振興」の課題に「漁獲量の減少」があげられていますが、目標値が維持です。維持が良いのであれば課題として捉えない方が良くないのでしょうか 減少を食い止めて「維持」するであれば、減少を食い止めるための「施策」がないと維持できないのではないでしょうか？	産業振興課	ご意見のとおり現状、漁獲量の減少が続いており、減少を食い止め、現在の漁獲量を維持していくため、36Pの9～11の各施策内の事業として記載しております。	無
50	基本計画 基本政策1	32	「農林水産業の振興」の目指す姿や施策に「高付加価値化や販路の拡大」とありますが、目標指標にそれらを測る項目が無いように見受けられます。また特にこれらを必要としている課題がありませんが、なぜこの施策を行うのでしょうか？	産業振興課	すべての施策に目標指標を設定していませんが、現状と課題に記載のとおり、コロナ禍により農畜産物の市場価格が下落した中、本町の付加価値の高い農業を営む経営体の廃業はありませんでした。また、条件の悪い中山間地域においては高付加価値化は取り組むべき課題であると認識しています。	無
51	基本計画 基本政策1	33	「商工業の振興」において、施策はたくさんあるのに対し、目標指標がサテライト関連のみ、というのは違和感を覚える。SO 言えば、SO の入っていない地区に対してはどのように取り組んでいくのか。	産業振興課	目指す姿に対する目標指標であるため、起業・創業支援の目標指標を追加いたします。なお SO のない地区に対してもサテライトオフィス誘致とともに起業・創業支援等により地域経済の活性化を図りたいと考えています。	有

No	区分	掲載ページ	ご意見	担当課	回答及び対応	修正
52	基本計画 基本政策1	38	「雇用対策の充実」において、障害者雇用や就労支援等も再掲してはどうか。	産業振興課	P39の主要施策に障害者雇用や就労支援を再掲いたします。	有
53	基本計画 基本政策1	38	「雇用対策の充実」において、住民アンケートで最も重要度が高く、満足度が低い雇用の項目ですが、現状と課題に課題が1つも記載されていません。まず課題を認識し総合計画に反映していただき、その課題が解決できるような施策を行って欲しいです。	産業振興課	人口減少とともに生産年齢人口が減少し、業種によっては人材不足が顕著となっています。若者を中心に働き方に対する考え方や価値観が多様化しており、ニーズに合った働き方ができる仕事づくりを推進する必要があることが課題であると認識して	有

第3次美波町総合計画（案）パブリックコメント提出意見に対する回答及び対応

					おり、現状と課題に追加いたします。	
54	基本計画 基本政策1	38	「雇用対策の充実」において、主要施策の中に移住の促進とありますが、移住が増えることと雇用が増えることに繋がりがありますか？雇用が増えれば移住は増えると思いますが、移住が増えたことにより雇用が増えることは多くないように思いますが、どのように考えた施策でしょうか？	産業振興課	現在、「小規模事業起業支援事業」を活用して、起業・開業されている方は、町外からの移住者の方々が多く、開業された方の中には、住民の雇用の場となっているところも多いため、雇用の増加につながると考えています。	無
55	基本計画 基本政策2	42	「地震・津波減災対策の推進」において、日和佐地区高台整備事業以外、復旧・復興対策がほとんどないように思います。美波町は、事前復興まちづくりの先進地として、国内外からも評価されているので、「美波町国土強靱化地域計画」にも記載されている「事前復興の推進」（住民 向等も踏まえながら、災害廃棄物の仮置場や応急仮設住宅の建設候補地、復興まちづくりの姿等、災害発後からの時間経過を踏まえて必要となる施設や機能等について検討をい、事前復興まちづくり計画の策定や事前復興の取組を推進する）の追加をお願いします。	消防防災課	「災害廃棄物の仮置場や応急仮設住宅の建設候補地、復興まちづくりの姿等、発災からの時間経過を踏まえ、必要となる施設や機能等、事前復興まちづくりの検討を行っています。」を追加いたします。	有
56	基本計画 基本政策2	42	「地震・津波減災対策の推進」の「住民の主体的な活動による防災・減災対策の推進」の主な事業・取組に、「地区防災計画の策定」の追加をお願いします。	消防防災課	「町内の一定の地域の住民が行う、自発的な防災活動に関する地区防災計画の策定が進められています。」を追加いたします。	有
57	基本計画 基本政策2	42	「地震・津波減災対策の推進」において、再掲になるがp78の「良質な住宅地の形成」を明記すべきでは。	消防防災課	再掲となるため記載していません。	無

No	区分	掲載ページ	ご意見	担当課	回答及び対応	修正
58	基本計画 基本政策2	44	「消防・防災体制の充実」において、防災教育（学校や老人クラブ等での）を追記すべきでは。	消防防災課	P69に「防災教育」の推進を主要施策として記載しています。	無

第3次美波町総合計画（案）パブリックコメント提出意見に対する回答及び対応

59	基本計画 基本政策4	60	「子育て支援の充実」の目標人口に出生率が2025年に1.8と記載されていますが、目標指標はアンケート結果のみです。出生率を1.8にするための主要施策は何でしょうか？また、少なくとも目標指標に出生率を記載するべきではないでしょうか？	福祉課 健康増進課	「子育て支援の充実」においては、出生率のみならず、地域や人とのかかわり等様々な要素から、支援体制の充実を図ることが必要と考えており、出生率を総合計画の目標指標とすることは考えていません。	無
60	基本計画 基本政策4	62	「社会教育・生涯学習の推進」の「3生涯学習プログラムの整備と提供」に、「パソコン教室」を追加して欲しい。「デジタル田園都市構想」に向けて、行政だけでなく住民のデジタル技術向上も不可欠である。	社会教育課	ご意見を踏まえ、主な事業・取組の部分に「スマホ・SNS教室等」という形で記載追加いたします。	有
61	基本計画 基本政策4	68	「学校教育の充実」の課題および主な事業・取組に、令和5年度から美波町で開始する「コミュニティスクール」の取組も追加して入れて欲しい。	学校教育課	「コミュニティスクールの充実」を施策1及び8の主な事業・取組に追加いたします。	有
62	基本計画 基本政策4	68	「学校教育の充実」の「学校給食の充実」において、先日の「美波町第2期子ども・子育て支援事業計画中間見直し」において、「子ども達から、「学校給食が美味しくない、量が少ない、給食が学校の楽しみの一つになっていない」といった声が聞かれ、実際の給食の写真を見る機会があったが、保護者から見てもひもじい内容になっている。栄養士指導のもと、栄養自体は足りているかもしれないが、科学的にも食は情報（見た目等も含む）であるとも言われているため、子ども達の心が豊かにある給食を希望します。」とのパブリックコメントを提出し前向きな対応回答をいただいたが、その後も子ども達から改善されてないとの訴えがある。同じ給食費を支払っているのに、町内で学校調理室がある伊座利とその他の学校で給食内容に格差があってはいけない。子育て支援の第一として、学校給食で町内の子ども達誰もが満足した給食を食べることができるよう切実にお願いしたい。それでも改善されないようなら、学校給食の写真を毎日学校のHP等に掲載する、また目標指標に「子どもによる学校給食への満足度」を入れる等して、学校内外から検証して欲しい。	学校教育課 福祉課	学校給食は、「児童又は生徒一人一回の学校給食摂取基準」により、エネルギーやたんぱく質、脂質などを考慮しながら栄養教諭が作成した献立により調理をし、提供しております。栄養価は基準を満たしていますが、子どもたちから「学校給食が美味しくない。量が少ない。給食が学校の楽しみの一つになっていない。」という声があるということは聞こえ伝わっています。教育委員会としても提供されている給食の試食を不定期ではありますが行っており、実際の給食内容を確認するようしております。今後も引き続き、味付けや見た目などで工夫できることがないか、栄養教諭や調理現場とも話し合いながら、子どもたちが楽しめる学校給食にしていきたいと考えています。	無

第3次美波町総合計画（案）パブリックコメント提出意見に対する回答及び対応

第3次美波町総合計画（案）パブリックコメント提出意見に対する回答及び対応

No	区分	掲載ページ	ご意見	担当課	回答及び対応	修正
63	基本計画 基本政策4	68	「学校教育の充実」の「防災教育の推進」の主な事業・取組に、現在も学校で実施している「総合的な学習の時間を活用した防災教育」の追加をお願いします。	学校教育課	主な事業・取組に「総合的な学習の時間を活用した防災教育」を追加いたします。	有
64	基本計画 基本政策5	78	「住宅施策の推進」において、「良好な住宅地の形成」の主な事業・取組はないのか？予算のかからない事業もアイデア次第できるのでは？	建設課	まずは緊急性の高い高台整備を完了させたのち、事業・取組等を検討していきます。	無
65	基本計画 基本政策6	81-	基本施策6や基本施策7に関しては、施策を効果的に進めていくにあたり、申請主義ではなく、個人や地域等へのアウトリーチが必要不可欠と思うが、内容や主な事業・取組をみても、その姿勢はほとんど感じられない。	健康増進課 福祉課	地域や対象者の方に応じて、訪問や相談、受診勧奨等を実施し、住民の健康づくりに努めております。	無
66	基本計画 基本政策7	93	「協働のまちづくりの推進」の現状および 主な事業・取組に、「美波共創塾」と「各大学サテライトオフィス」を追加して欲しいです。	政策推進課	町といたしましては、地域づくり団体のほか全町内会を地域づくり団体と位置づけております。また、大学につきましてもそれぞれにより体制は異なるものの大学連携事業としてそれぞれの課題解決に向け取り組ませていただいております。	無
67	基本計画 基本政策7	94	「協働のまちづくりの推進」の「住民団体、ボランティア等の育成・支援」に、「地域づくり団体が横連携する協議会の開催」を追加して欲しい。	政策推進課	地域づくり団体の連携を強めるため、協議会の開催ではなく、必要に応じて地域づくり団体間の情報共有等の支援を行います。	無
68	基本計画 基本政策7	95	「コミュニティ意識の高揚」「コミュニティの活性化支援」に、老人クラブへの支援はあるが、コミュニティは全世代が対象で取組む必要があり、また美波町のコミュニティの中心は町内会等であるため、町内会等への支援も入れて欲しい。	政策推進課	ご意見をもとに、内容と主な事業と取組部分の記載を変更いたします。	有
69	その他	-	「自治体運営の改革」の「人材の育成」について、人材育成の前に、地域から役場に連携を取ろうとしても、連携が取れない、取ろうとしない職員がいて困っています。職員個人の性格や志向に左右されることなく、職員や職場間での連携がとれるように、普通に仕事をして欲しいです。	総務課	全体の奉仕者として、職務に専念するよう、今後も指導していきます。	-

第3次美波町総合計画（案）パブリックコメント提出意見に対する回答及び対応

No	区分	掲載ページ	ご意見	担当課	回答及び対応	修正
70	その他	-	総合計画審議委員会のメンバーはどのように選定しているのかを教えてください。一般住民から公募委員を広く募集する等は行っていますか？	政策推進課	町内の各種団体の代表や学識経験者に委員として参加いただいています。一般公募の委員については次回検討いたします。	-
71	その他	-	今後10年間の道筋を審議していく場であるならば、総合計画審議委員会の構成年代を10代以上の幅広い年代にした方が良いのではないのでしょうか？	政策推進課	検討させていただきます。	-
72	その他	-	SDSsにもジェンダー平等の項目があり、あらゆる機会を捉えて男女共同参画に関する啓発を行うと本計画にも記載ありますが、総合計画審議委員会に女性が1名しかいないのは改善が必要ではないのでしょうか？	政策推進課	女性委員はあえて一人にしているわけではなく、各種団体の代表を選定すると男性委員が多いため、このような形となっています。	-
73	その他	-	総合計画審議委員会の議事資料や議事録が町HP上に掲載されていないため、どのような考え方・経緯・議論を得て計画案が策定されたか、一町民の立場では判断するための情報が不足しているため、適切なパブリックコメントできない状態にあると思います。今後は、それらの資料のHPへの掲載もお願いします。	政策推進課	審議会での協議内容は計画の公開時にHPであわせて公表させていただきます。審議会毎の協議内容の公表は次回検討させていただきます。	-
74	その他	-	総合計画は、美波町における行政運営の最上位計画であり、住民全体で共有する町の将来目標や施策を示し、全ての住民や事業者、行政が行動するための基本的な指針となるものである。したがって、住民や事業者、行政が自分らの計画として策定・実行していくためにも、計画策定過程が最大の参画・協働・人材育成の場であるが今回町税から880万円を外部コンサルタントへ委託してその貴重な機会が失われてしまっている。今後は、町内の住民や事業者、行政で作成できる体制を整えて欲しい	政策推進課	検討させていただきます。	-

第3次美波町総合計画（案）パブリックコメント提出意見に対する回答及び対応

No	区分	掲載ページ	ご意見	担当課	回答及び対応	修正
75	その他	-	PDCA サイクル含め、第3次ということは第2次の総合計画があって①実行したこと②その評価③3次で引き続きやること、④3次で新たにやることといった手順で策定されたと思うが、特に①・②が町HP等で公開されていないため、①～④の手順で第3次計画を考えることができない。まずは第2次計画の評価・検証結果のまとめを町HPに掲載すべきである。	政策推進課	評価・検証は審議会にて行っており、審議会での審議内容は公開することとしています。評価結果のまとめは公開していませんが、今後公開を検討いたします。	-
76	その他	-	基本的に第2次総合計画の評価・検証だけでなく、町の分析と予測が甘いと思われる。そのため、全体を通して計画が形骸化している感じで、この計画を誰のために作成しているのか、町として今後10年の施策で何に力点を置いているのか、不明瞭である。地域住民に広く読んでもらいたいのであれば、もっと工夫すべき。	政策推進課	本計画は次代に誇りを持ってつなぐまちづくりを推進するため、大きな方向性を示したものであり、今後10年間で町として重きを置く所は、リーディングプロジェクトと考えています。計画の周知については、概要版を作成し、広く周知していきます。	-
77	その他	-	町民が読むには普段聞きなれない単語や言葉が多くあり、わかりにくいです。町民が読んでわかるような総合計画にしてください。	政策推進課	計画書本編には用語集を記載するとともに、町民の理解促進を図るために、概要版を作成いたします。	-
78	その他	-	最初から読みすすめていっても、問題が何か、なぜその解決方法としてその施策を採用するのかの話が繋がっていきません。話が繋がるような総合計画を作ってください。	政策推進課	参考とさせていただきます。	-
79	その他	-	美波町全体としての計画であるが、地区別計画がないので、全体としてフワッとした内容になっており、住民が実感しづらい計画になってしまっている。今後は、地区別計画も策定して欲しい。	政策推進課	総合計画は地区ではなく町全体の内容を反映した計画書となっています。具体的な内容は各個別計画をご覧ください。なお総合計画の地区別計画は、現在策定予定はありません。	-

第3次美波町総合計画（案）パブリックコメント提出意見に対する回答及び対応

No	区分	掲載ページ	ご意見	担当課	回答及び対応	修正
80	基本計画 基本施策1、2	30-34	<p>農林水産業と商工業のところだけ見ました。課題に関しては認識としておっしゃる通りだと思います。しかし、施策と目標はほぼ現状維持で、施策に関して新しいとは思える点が少ないです。たとえば、三好市では堆肥場が作られています。角田さんに協力してもらったり、たけのこの皮の残渣やあるいは、しいたけ工場からの廃菌床を利用して植物性堆肥の製造をしていただきたいです。また、美波町の農業の課題として、そもそも新規参入がされにくい構造そのものに問題があると思われまます。そもそも耕作放棄地を年々監視しているかも怪しく、実態把握が優先ではないでしょうか？畑地が草地として登録されていた地目もありました。有機農業に関しても、面積だけで言えば、うちも化学肥料と化学農薬は使っていないため、有機 JAS ではない有機農業に該当すると思われまます。他のナノハナ農家さんでも冬場は農薬を使っていない事例も見受けられます。まずできている部分から見ていくのがいいかと思ひます。できているのに見えていない部分の掘り起こしが優先だと思ひます。あと、獣害対策に関しては、墓参りのときに害獣の餌になるようなものはおかないことや、ゆずの絞り粕等の生ゴミを田んぼに放りっぱなしにしないこと。生ゴミは埋めることを徹底しないと、猪鹿猿の餌になります。稲作の二番稲のすき込みの徹底等やった方がいいと思ひます。稲作の反収もあがるとききました。農家で一回、獣害対策の先進地域に研修旅行に行くなどしても良いのではないのでしょうか？それか獣害対策のチラシや獣害対策の専門家による学習会の開催レベルでも構ひませぬ。獣害は山裾の見晴らしが鳥獣害の鍵になっています。草刈り等の助成の回数頻度上げて頂きたいです。また、耕作放棄地が獣害の温床となっており、隠れ蓑になっています。ある程度、耕作放棄地は所有者の意向もきいたうえで、地域住民が草</p>	産業振興課	<p>農業の新規参入に関しては、法改正により令和5年度から下限面積要件が廃止され、農地を利用する権限を得ることが容易となるため、新規就農者の育成を併せて推進してまいります。堆肥場整備に関しては、立地、財源、効果の面から整備の是非を検討する必要があり、現時点ではお答えできません。有機農業に関しては、徳島県と連携して進める必要があり、耕作放棄地対策や草刈りなどについては、中山間地域等直接支払交付金・多面的機能支払交付金を活用して対策しております。新規起業につきましては町出身者、移住者を問わず起業支援事業が利用いただけますが、ご存じない方もいらっしゃると思いますので、今後とも広報に努めてまいります。</p> <p>ご意見は今後の施策の参考とさせていただきます。</p>	無

第3次美波町総合計画（案）パブリックコメント提出意見に対する回答及び対応

		<p>刈り等を行う助成をすることで、獣害は減ると思います。商工業に関しては、もう少し地域住民を信じてもいいのでは？と思います。やれ外部人材、やれサテライトオフィスで、まるで美波町で育った人はいないんだなあと感じることが多くあります。いわゆるよそ者偏重。ウチの者にはあげない。釣った魚に餌をやらない。印象を感じます。それだとバケツに穴が空いているのに、人を呼び込もうとしているのと同じだと感じます。美波町出身者だからという蔑視、どうせ美波町出身だからという扱いはやめて、中学生ぐらいでも道の駅等でなにかしら販売イベントを行って、将来、高校や大学に進学しても、帰ってきたい人は帰ってこれる環境整備が大事だと思います。なので、30歳前後に美波町に帰ってきた場合に、美波町在住経験者が起業したいと思ったときに、身内から新規事業できる環境整備が重要だと思います。まとめとして、やはり産業関連は農林水産業も商工業も、手薄いと感じます。ほぼ何も変わっていないと感じました。</p>			
81	基本計画 基本政策3	53 町づくりで公園の部分ですが、近年東京オリンピックで金メダルを取ったスケートボードを練習する施設の建設をお願いしたいと思います。理由：海や山に近く、のんびりとした土地柄、サーフィンやスケートボードに打ち込める環境さえ作れば、都会より落ち着いて住みやすい美波町に移住したいと思う人は増えると思います。都会から田舎に移住する人の中でリモートワークで年収の高い人を狙い、町税アップにも繋がります。自分は東京出身ですが、都会の子供たちは部活感覚でスケートボードパークに通っています。それも親も同伴で、1日の利用料が一人当たり千円から千五百円の費用がかかります。それを公共施設として無料開放すればその人たちからすればどんなに魅力的でしょうか。なぜ近年スケートボードを始める子供が増えてきたのかという所ですが、理由としては、コロナの影響もありますし。親世代がスケートボードに馴染みのあるこ	社会教育課	<p>スケートボードに関しては周期的な流行と東京オリンピックでの日本人選手の活躍などにより、主に若年層を中心に愛好者が増えております。一方で騒音や公共物破壊、一般道路での交通違反など愛好者のマナーについての問題と、楽しむ場所の不足と行った課題を抱えていると考えております。ご指摘のような大型施設が町内にあり無料開放されていれば素晴らしいことだと思いますが、施設の建設や維持管理には多額の費用が必要であり、騒音が伴うことから建設に際しては場所の選定も難しいと考えております。頂いたご意見を参考にしながら、今後の政策に生かしてまいります。</p>	無

第3次美波町総合計画（案）パブリックコメント提出意見に対する回答及び対応

			と、スケートボードでプロになればアメリカでプール付きの一軒家を日本人でも買えることが証明されたからです。願わくば、鳴門市のuzuparkと同等かそれ以上の施設を美波町に建設し、未来のオリンピック選手を美波町から輩出するのも夢のある話だと思いますがいかがでしょうか？			
82	基本計画 基本政策 1	35	美波町には複数の団体（美波町観光協会、ボランティア観光協会、発心の会、薬王寺門前町商店組合など）がありますが、それぞれの活動の総括が毎年きちんと行われているのか疑問です。なぜコロナ禍以降閉まっているボランティア観光協会の方が広い事務所を構えているのか、本来なら毎日開いている観光協会にもう少し大きな事務所を構えさせるべきではないのか。そもそも二つに分ける必要があるのか疑問です。また薬王寺門前町組合に所属していますが、この2年？3年の間にどのような成果があったのか見えてきません。記憶にあるかぎりスタンプラリーを行ったくらいではないでしょうか。ただただ予算があるからとその場かぎりの予算の使い方をしているようにも見えます。薬王寺（四国霊場23番札所）から「道の駅日和佐」周辺を含む門前町再生事業について地域が一体となった推進体制の構築に向け支援を続けるとともに、日和佐うみがめ博物館カレッタのリニューアルオープンを見据え、門前町エリアからカレッタ・大浜海岸エリアへの動線の形成を図ります。古道を再生し、新しい観光資源の開発に努めます。という内容が総合計画にありますが、地域が一体になる必要があるならこういった団体も今までの活動方針を見直す時期にきているのではないのでしょうか？また団体代表者の高齢化も顕著で、もう少し多様な意見を取り入れるべきではないのでしょうか。インバウンドの受け入れについてもインバウンド受入体制の確立を進めます。多言語に対応したパンフレットの作成やキャッシュレス決済への対応・Wi-Fiスポットの設置、外国語・文化に対応した接客等に向けた取り組みを支援しま	産業振興課	それぞれの団体が組織された背景や現在までの経緯に違いがあり一律に語ることはできませんが、団体ごとに会員や関係者による会議や総会等で活動の内容について統括されていると考えております。また補助金交付団体におきましては事業年度ごとに実績報告書を提出いただいております。ご指摘の団体の中で最も歴史がある観光協会は、駅前に事務所兼案内所があった時代もありますが、日和佐町観光協会と由岐町観光協会が合併し現在は美波町内でもっとも観光客の利用が多い道の駅日和佐にて、外国人対応を含む観光案内業務を行っております。一方、商工会が平成21年に設立したボランティアガイド会日和佐ですが、駅構内の倉庫を事務所に使って活動を続けておりましたが、現在のスペースが空いたことからJRに許可を頂き、駅利用者への観光案内業務を担って頂きながら事務所として利用しております。線路を挟んで道の駅側は車利用者が多く、駅側は徒歩利用者が多いことから、2つの団体は利用者のニーズにあわせた観光案内を担って頂きながら役割分担を行っております。JRの経営難にともない県内の他駅では駅舎の取り壊しなども問題となっております。牟岐線もほとんどの駅が無人化されるなかで、日和佐駅は明るく賑やかとの評価を頂いており、防犯の観点からも有効活用できていると考えておりましたが、高齢者が多いボランティアガイド会ではコロナウイルス感染拡大防止の観点から観光案内所兼事務所の閉鎖が続いております。また二つの団体は観光に関係する団体として統合の検討も行って	

第3次美波町総合計画（案）パブリックコメント提出意見に対する回答及び対応

		<p>す。という極々基本的な取り組みしか触れられておらず、これだけでは今以上に訪日外国人に美波町の魅力を伝えることは難しいと感じます。団体の取り組みよりも、実際にそれぞれの個人で商いする方がそれぞれのやり方で新たな観光客の層の取り入れに力を注いでいることは明かで、そういった事業者が自身の事業に更なる投資をできるよう支援の拡充や多様性を持たせることが重要ではないでしょうか。現状ある支援や補助金は使いやすいものとは言い難いです。事業者としても美波町のような小さな町で事業を継続していくことは非常に難しいことです。それでも町の産業振興に貢献して行こうとしている人々がいる中で更なる貢献ができるような支援策が不可欠だと感じています。</p>	<p>きましたが、観光客から対価を頂き収益をあげる一般社団法人美波町観光協会と、対価を求めずボランティアでガイドすることにこだわるボランティアガイド会では活動方針に大きな隔たりがあり、現時点で一つになることは難しいと考えております。薬王寺前及び桜町通りの再生は合併前からの課題でありましたが、道の駅日和佐が建設されたことにより、第2次美波町総合計画では「薬王寺」から「道の駅日和佐」付近まで「新」門前町として形成することを模索してまいりました。その後の美波町総合戦略にそった事業展開により門前町エリアに新規出店が相次ぎましたが、既存店舗と新規店舗が連携することが少なく、以前存在していた桜町商店街組合のような団体の再組織化が課題となっております。そういったなかで美波町商工会が中心となって薬王寺門前町商店組合を令和3年に設立しております。設立して間もない団体ですが、スタンプラリーの他、夏休みのキッズゼミ、吊し雛の制作、夜の博物館イベントの開催など、個々の店舗だけではできない新しい活動を行っております。日和佐うみがめ博物館カレッタの全面改修後を見据え、博物館から町中への来館者の誘導なども視野に入れながら引き続き活動されるものと考えております。インバウンド受入体制についてはご指摘のとおり基本的な取組から徐々に範囲を広げてまいりました。コロナ禍以前は外国人お遍路が急増しておりましたので、観光協会と連携し年間通じて多言語対応できる観光案内所の開設など、県内でも先進的に取り組んできました。しかしコロナ禍により、今後の外国人観光客の動向やニーズに合わせて事業の見直しが必要となっております。美波町の活性化に貢献していただいている町民に対して事業の継続を行っていただけるように、使いやすい支援を検討して生きたいと思っています。</p>
--	--	--	--